

東バイパスライナーについて

1 東バイパスライナーについて

(1) 運行概要



【概要】

- ・路線長：約 19 キロ
- ・運行費：平日のみ
- ・便数：30 便 / 日
- ・運行方法：民間バス事業者 4 社による共同運行

H21.12.1 以降変更なし

(2) 本格運行結果 (平成 22 年 4 月 ~ 11 月分)

1 日あたりの利用者数

1 日あたりの利用者数は、下図のとおりであり、平均で 343.5 人となっている。

【参考】実証運行期間中 (H21.12 ~ H22.3) は、1 日平均 300.3 人

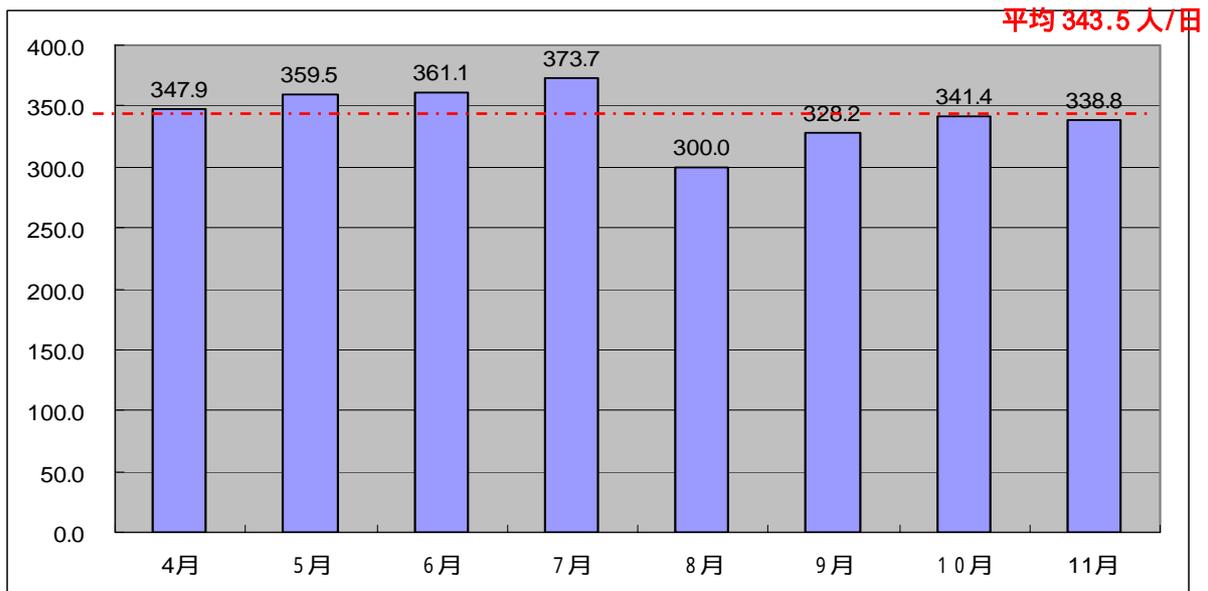


図 1 1 日あたりの利用者数

1 便あたりの利用者数

1 便あたりの利用者数は、平均で 11.5 人となっている。

【参考】実証運行期間中（H21.12～H22.3）は、1 便平均 10 人

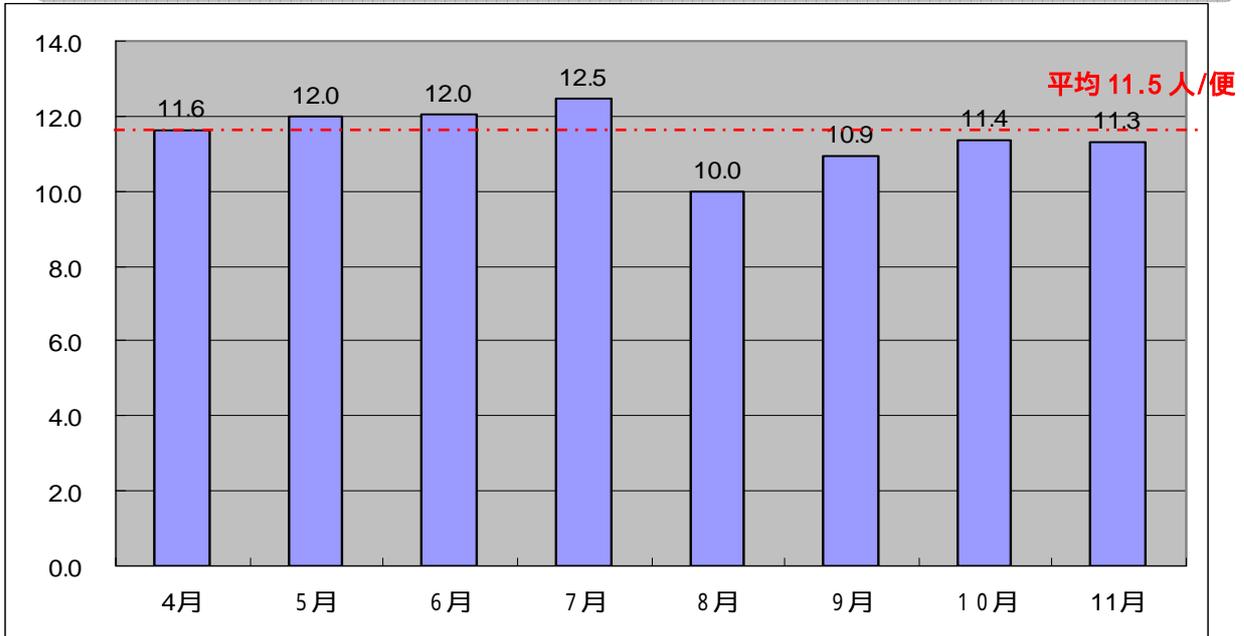


図2 1 便あたりの利用者数

収支状況

東バイパスライナーの収支の状況は、平成22年4月から9月までの6ヶ月間において、約1,200万円の赤字である。

収支率（収入/経費）は、約37.5%である。

表1 東バイパスライナー（H22.4～9月）の収支の状況（単位：千円）

期間	経常費用（A）	経常収入（B）	収支（A - B）	収支率（B/A）
H22.4～9月	19,216	7,209	12,007	37.5%

数値は、各バス事業者から提出された補助金交付申請書に基づき算出

アンケート調査の実施

【調査の目的】

利用状況を把握することで、利便性の向上に努め、乗客数の増加を図る。

【調査概要】

調査期間：平成22年7月8日(木)～23日(金) 計9日間

調査時間帯：6:45～20:45

調査場所：バス車内

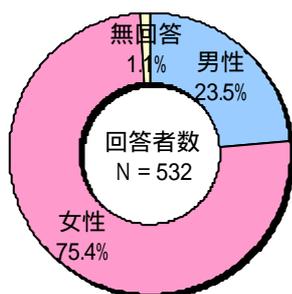
対象路線：東バイパスライナー(上り下り)

調査方法：調査員による聞き取り調査

調査サンプル数：532人

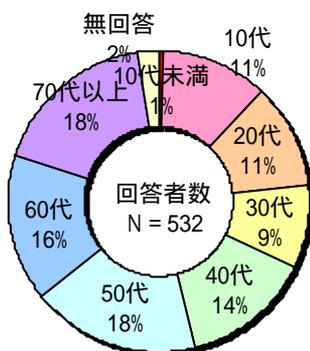
・アンケート回答者の属性

(性別)



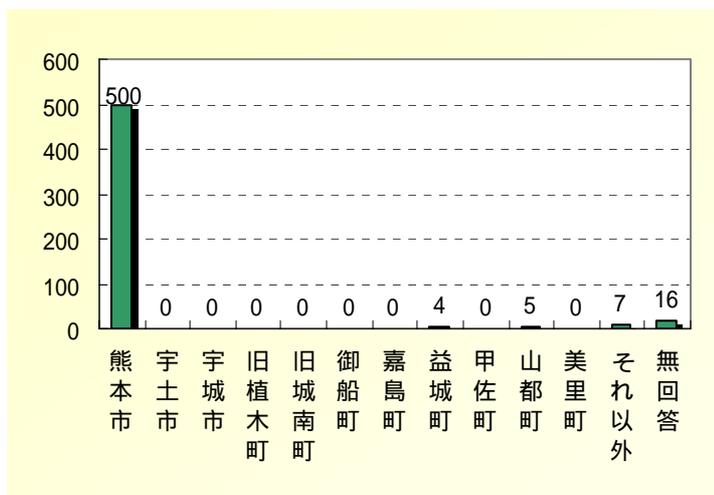
	回答数(票)	割合 (%)
男性	125	23.5
女性	401	75.4
無回答	6	1.1
合計	532	100

(年齢)



	回答数(票)	割合 (%)
10代未満	3	0.6
10代	60	11.3
20代	61	11.5
30代	47	8.8
40代	75	14.1
50代	96	18.1
60代	83	15.6
70代以上	95	17.9
無回答	12	2.3
合計	532	100

(居住地)

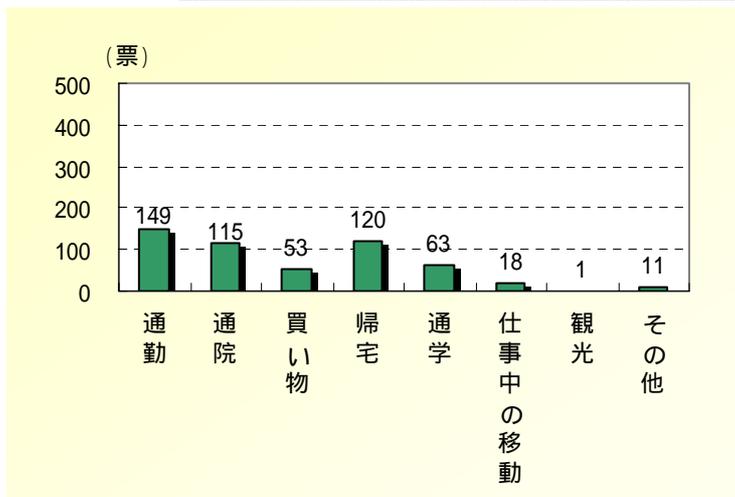


	回答数(票)	割合(%)
熊本市	500	94
宇土市	0	0
宇城市	0	0
旧植木町	0	0
旧城南町	0	0
御船町	0	0
嘉島町	0	0
益城町	4	0.8
甲佐町	0	0
山都町	5	0.9
美里町	0	0
それ以外	7	1.3
無回答	16	3
合計	532	100

・利用者の行動特性

(利用目的)

東バイパスライナーの利用目的は、通勤が最も多く、帰宅、通院、通学の順となっている。



	回答数(票)	割合(%)
通勤	149	28.1
通院	115	21.7
買い物	53	10.0
帰宅	120	22.6
通学	63	11.9
仕事中の移動	18	3.4
観光	1	0.2
その他	11	2.1
不明	0	0.0
合計	530	100

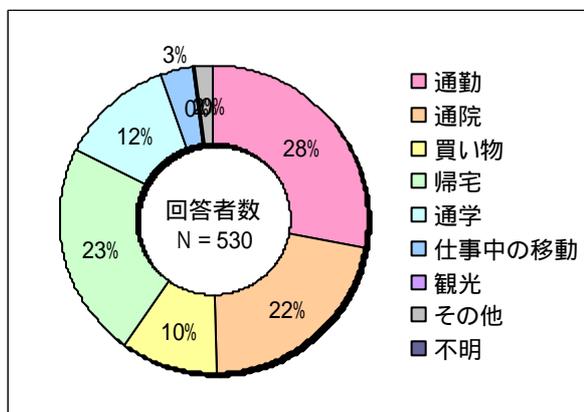
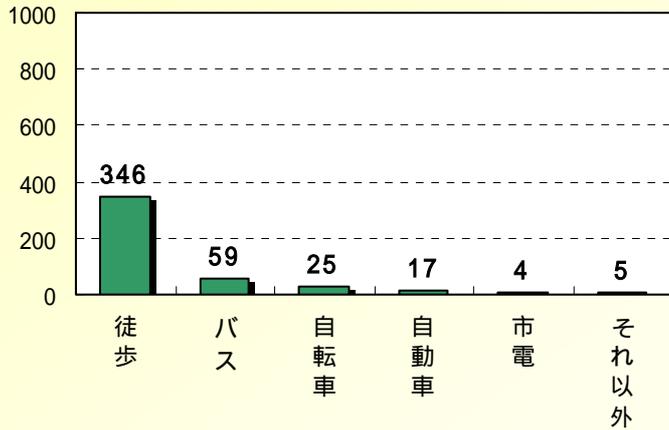


図3 東バイパスライナーの利用目的

(東バイパスライナー乗車バス停までの交通手段)

乗車バス停までの交通手段は、徒歩が約7割を占めており、バスからの乗り継ぎは約11%となっている。

【参考】TO熊カード乗継割引(60分以内で20円引)九州産交H21.10実績:7.3%

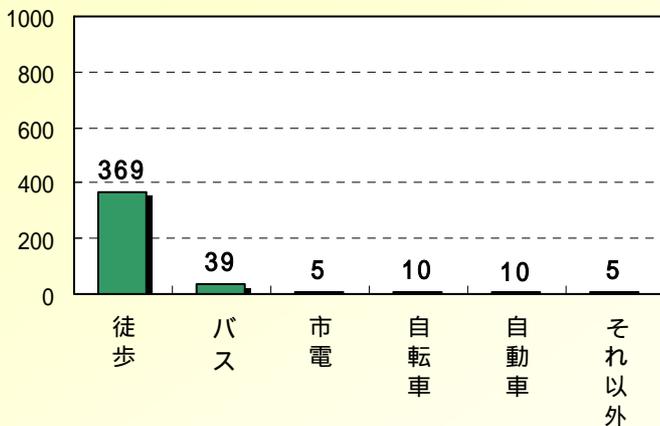


	回答数(票)	割合(%)
徒歩	346	65.0
バス	59	11.1
自転車	25	4.7
自動車	17	3.2
市電	4	0.8
それ以外	5	0.9
不明	76	14.3
合計	532	100

図4 東バイパスライナー乗車バス停までの交通手段

(東バイパスライナー降車バス停からの交通手段)

降車バス停からの交通手段は、徒歩が約7割を占めており、バスへの乗り継ぎは約7%となっている。



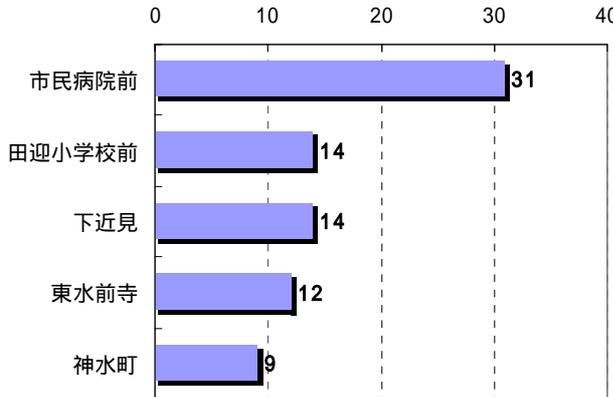
	回答数(票)	割合(%)
徒歩	369	69.4
バス	39	7.3
市電	5	0.9
自転車	10	1.9
自動車	10	1.9
それ以外	5	0.9
不明	94	17.7
合計	532	100

図5 東バイパスライナー降車バス停からの交通手段

(乗継対象バス停)

乗継対象バス停は、乗車バス停、降車バス停ともに市民病院前バス停が最も多くなっている。

(出発地 乗車バス停)



(降車バス停 目的地)

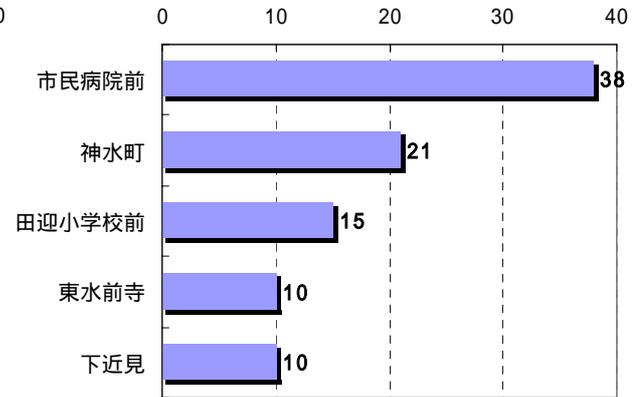
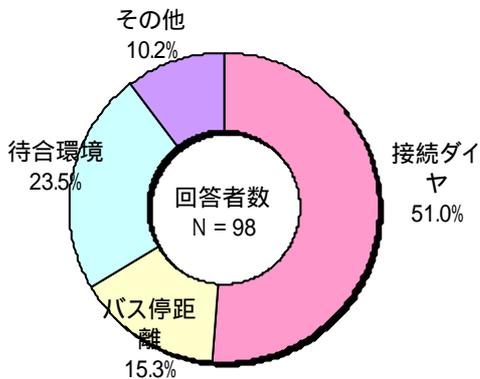


図6 乗継対象バス停(上位5位)

・乗継に対する問題点(任意回答)

路線バスと東バイパスライナーの乗継に対する問題点として、接続ダイヤに対する要望が最も多く約5割を占め、次いで待合環境となっている。

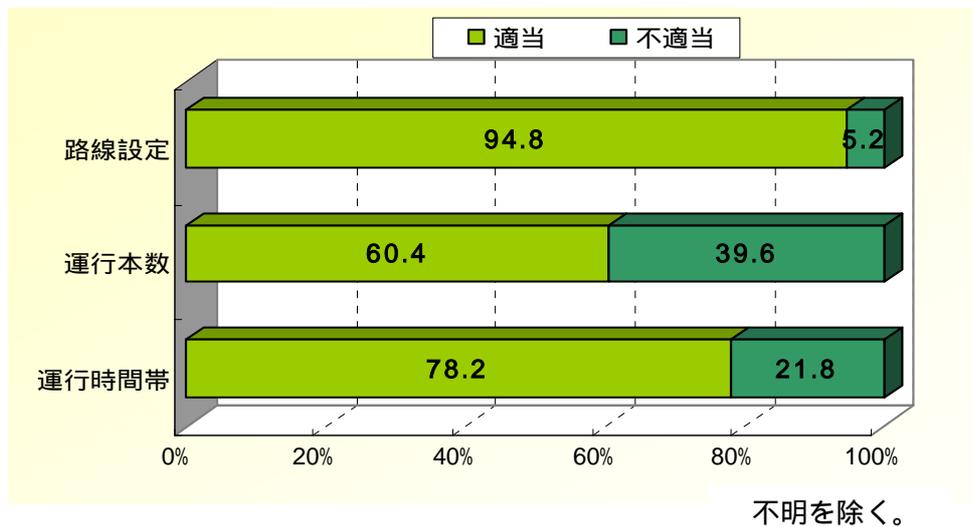


	回答数(票)	割合 (%)
接続ダイヤ	50	51.0
バス停距離	15	15.3
待合環境	23	23.5
その他	10	10.2
合計	98	100

図7 乗り継ぎに対する問題点

・東バイパスライナーのサービス水準について

東バイパスライナーのサービス水準は、路線設定に対しては9割以上の方が適切と答えているものの、運行本数や運行時間帯に対しては、それぞれ4割、2割程度の方が不適切と回答している。



	適切	不適切	不明	合計
路線設定	470	26	36	496
運行本数	296	194	42	490
運行時間帯	373	104	55	477

図8 東バイパスライナーサービス水準について

< サービス水準に関する設問に対して不適切と回答した理由 >

・路線設定について

順位	項目	件数	主な内容
1位	延伸	5件	新港までの路線があるといい
2位	延伸	4件	東バイパスのみの路線がほしい
3位	路線の迂回	2件	けやき通りへの迂回は不要
3位	路線の延長	2件	もう少し長く走ってほしい
5位	路線の経由	1件	県庁前を経由すると、高速バスが利用できる
5位	路線の経由	1件	交通センターの経由があればいい

・運行本数について

順位	項目	件数	主な内容
1位	増便(全体的に)	108件	本数を増やしてほしい
2位	30分毎に	46件	30分に一本の運行をしてほしい
3位	増便(通勤、通学の時間帯)	10件	通勤、通学の時間帯を増やしてほしい
4位	土日祝日の運行	5件	土日祝日もあればよい
5位	最終便を遅く	4件	最終便を遅くしてほしい

・運行時間帯について

順位	項目	件数	主な内容
1位	最終便を遅く	32件	21時台に一本あるといい
2位	増便(朝、夜)	14件	朝、夜の時間帯が少ないので、増やしてほしい
3位	始発を早く	9件	7時50分前後にあればいい
4位	増便(全体的に)	8件	便が少ない
5位	増便(朝、夕)	5件	1時間に二本ほしい

「東バイパスライナー」 利用者アンケート

熊本市では、お客様にとって利用しやすいバス路線網とするため、バス利用者のアンケート調査を実施しています。お忙しい中大変恐縮ですが、調査にご協力の程よろしくお願い申し上げます。

下記の問について、該当するものに「 」を付け、()内に必要事項をご記入ください。

問1 あなたの年齢は？

10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

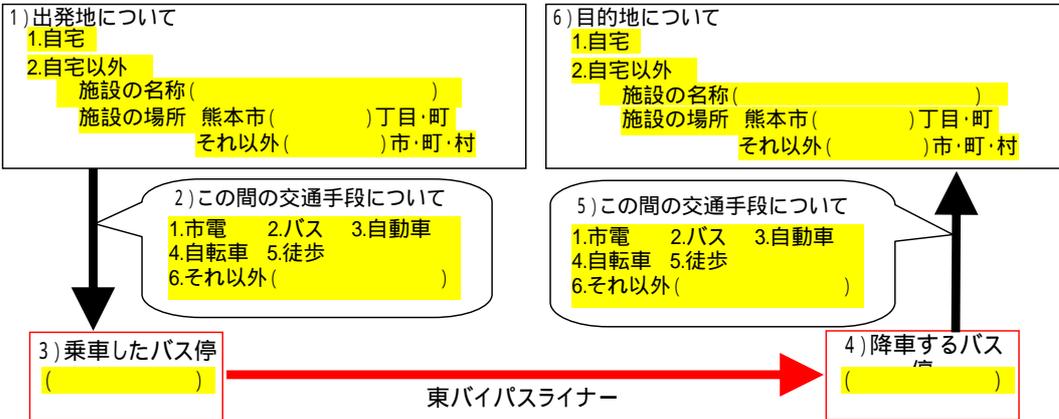
問2 あなたの性別は？

1.男性 2.女性

問3 あなたのご住所は？

1.熊本市()丁目・町
 2.旧植木町 3.旧城南町 4.宇土市 5.宇城市 6.御船町 7.嘉島町
 8.益城町 9.甲佐町 10.山都町 11.美里町 12.それ以外()市・町・村

問4 東バイパスライナーにおいて、乗ったバス停、降りるバス停などについてお尋ねします。
 1)から6)の問いにお答えください。



問5 今回の東バイパスライナーの利用目的は何ですか？

1.通院 2.通勤 3.通学 4.買い物 5.仕事中の移動 6.観光 7.その他()

問6 東バイパスライナーと既存バスや市電を乗り継がれた(または、乗り継がれる)方に乗継ぎにおける問題点をお尋ねします。(複数回答可)

1.乗継ぐバスへの接続ダイヤ 2.バス停間の距離 3.バス停の待合環境
 4.その他()

問7 「東バイパスライナー」についてお伺いします。

1) 路線の設定について 1.適当 2.不適当(理由:)
 2) 運行本数について 1.適当 2.不適当(理由:)
 3) 運行時間帯について 1.適当 2.不適当(理由:)

問8 東バイパスライナーについて、また、その他バスに関することについてご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。

